



主に価格の急落が原因となり、タイの 2025 年の米の輸出規模は 4 年ぶりの低水準と予測される

CURRENT ISSUE

Vol. 31 No. 3584 June 6, 2025

- 2025 年、タイの米輸出は 4 年間で最も大きな減少が見込まれ、輸出額は 41.6%の減少と予測されている。これは米の価格が 25%、輸出量が 22.2%、それぞれ減少することが要因となっている。
- 2025 年にタイの米輸出が直面する最大のリスクは世界的な市場動向に沿った米価格の急落であり、主に供給側の事情に起因している。
- 2025 年は、タイの白米輸出価格の急落により、輸出規模は前年比 59.4%の大幅な縮小が見込まれており、タイの米輸出全体に重大な打撃を与えると予想される。

**Laddawan Chalemsanyakorn**

Senior Researcher

laddawan.cha@kasikornresearch.com

タイの米輸出は、2025 年 4 月に急激な減少を記録

タイの米輸出規模は、2025 年 4 月において 34.1%という大幅な減少を記録。これは、季節要因により輸出可能な在庫^{*1}が限られていたため、輸出量が 30.5%減少したことが主な要因である。さらにかつてはタイからの輸入を拡大していた主要輸入国が、その後縮小に転じたため、米価格も 5.1%下落となった。

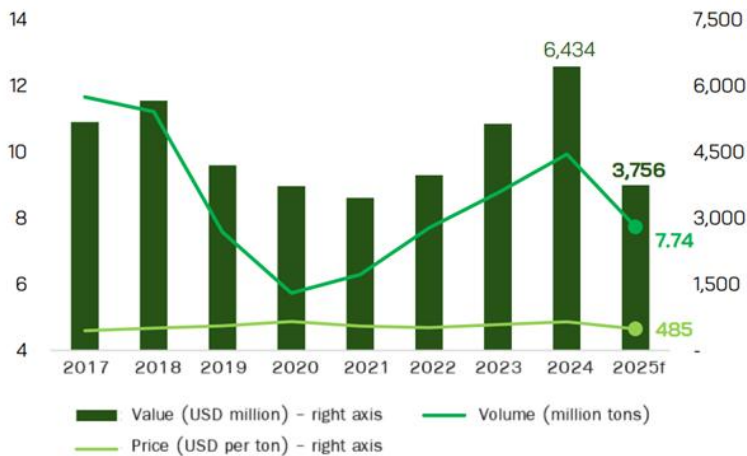
2025 年のタイの米輸出量は、複数のリスク要因により減少すると予想

2025 年、タイの米輸出量は 4 年ぶりの低水準に達すると見込まれており、総輸出額は 41.6%減の 37 億 5,600 万ドルに縮小すると予想。米価格の 25%下落、輸出量の 22.2%減少（図 1）が輸出額の急速な減少の要因となっている。

^{*1} 輸出の大部分は、同国の総米生産量の約 20%を占める通常の稲作時期以外に栽培される米である

図 1：タイの米の輸出額、輸出量、および価格

In 2025, Thai rice export value is expected to fall by 41.6%, the lowest in four years



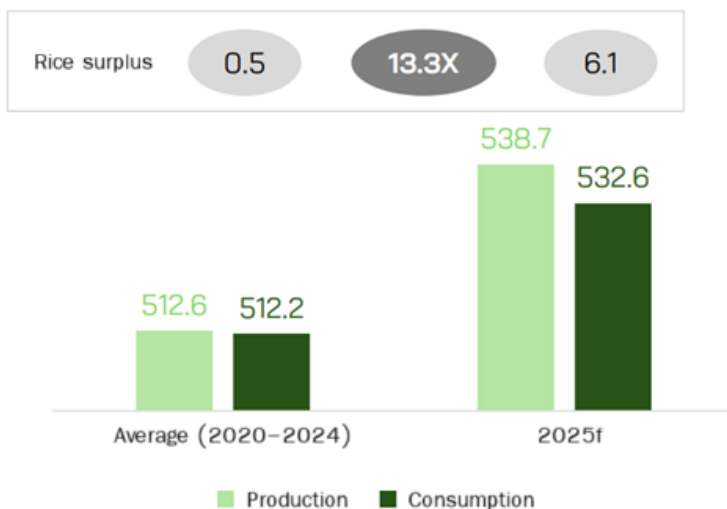
Source: MOC, forecast by KResearch (as of June 2025)

2025 年のタイ米輸出における主要なリスク要因は、世界的な市場動向に沿った価格の急落である。この下落は、以下の通り、米の世界市場における供給側の要因に主に起因している：

- **世界的な米の過剰生産の急増**：2025 年、特にインドやタイなどの主要生産国で好天に恵まれたため、世界全体での米の生産量は 2.9%増加すると予想され、インドでは7.4%、タイでは5.9%、それぞれ生産量増加が見込まれている。一方、世界的な米の消費量は僅かに増加する見込みであり、その結果、今年の全世界の米の過剰在庫は、歴史的平均の13.3 倍に達すると予測されている（図 2）。

図 2：世界の米の生産量、消費量、および余剰量（百万トン）

In 2025, the global rice surplus is projected to surge to 13.3 times the historical average



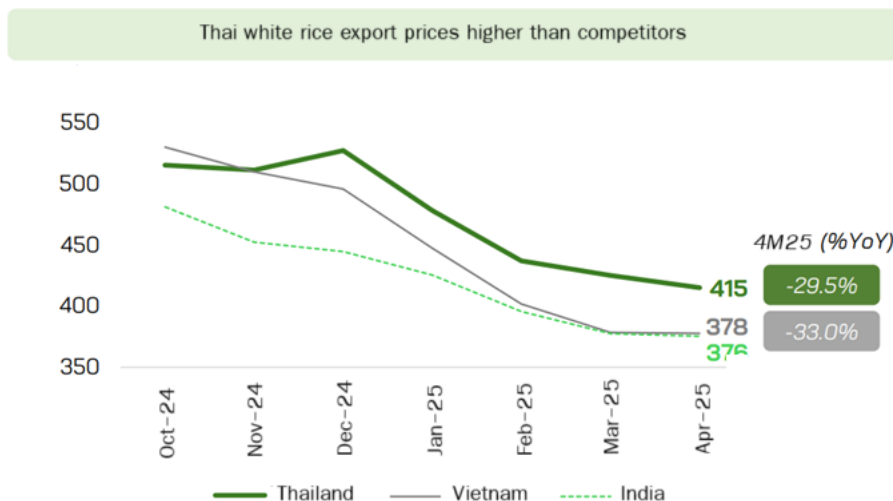
Source: USDA (data as of May 2025), compiled by KResearch

- **世界市場における米の在庫過剰**：2025 年、世界全体での米の在庫は 2.8%増加し、1 億 8,510 万トンに達すると見込まれており、2020 年から 2024 年までの平均在庫水準を約 190 万トン上回る見込みである。
- **インドの白米輸出再開**：2024 年 9 月下旬、約 2 年間の停止を経てインド^{*2} は白米の輸出を再開した。加えてインドの米在庫が 1.2%増加し 4,250 万トンに達したことで、世界的に更なる米価格下落圧力が加わっている。実際にインドが白米輸出を再開した期間（2024 年 10 月～2025 年 4 月）において、世界的な米価格^{*3} は前年同期比で 23.4%下落した。

タイの白米輸出価格は 2025 年に 38.5%以上急落し、白米輸出額全体^{*4} は 59.4%減少する見込みである。これはタイの米輸出全体に大きな打撃を与えられる。タイ産白米の主要輸入国は、昨年既に消費用に大量の在庫を積み増したため、今年度の輸入量を削減すると見込まれている。例えば、インドネシアの 2024 年末時点の米在庫量は 620 万トンで、過去の平均（2021～2023 年）の 1.7 倍に達している。

2025 年、主要な米輸入国は、世界的な米輸入量の縮小見込み^{*5} に沿って、タイからの米輸入を削減すると予測される。特に、インドネシアは世界的な米輸入量を 82.8%削減し、日本は 8.5%、カメルーンは 6.3%、マレーシアは 2.7%それぞれ削減すると見込まれている。さらにタイの米は価格面で不利な立場にあり、競合国の米よりも 1 トンあたり約 40 米ドル高くなっている（図 3）。

図 3：5%白米の輸出価格－タイ/インド/ベトナム（米ドル、トンあたり）



Note: India resumed white rice exports in late September 2024.

Source: World Bank and FAO, compiled by KResearch

^{*2} インドは世界最大の米輸出国であり、世界の米輸出量の約 40%を占めている（米国農務省、2022 年）

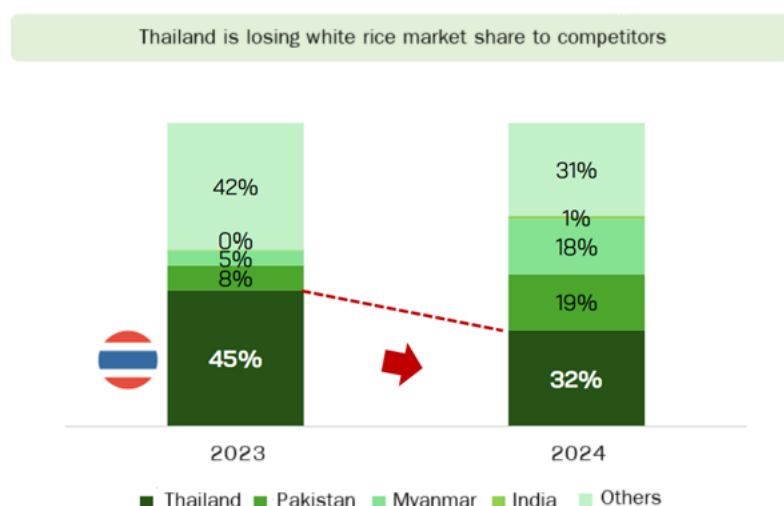
^{*3} タイの 5%白米の価格は、世界銀行によって基準価格として設定されている

^{*4} 白米はタイの総米輸出量の 58%を占める（MOC、2024 年）

^{*5} 米国農務省（USDA）による予測（2025 年 5 月時点）

さらに、タイの白米輸出は競合国に市場シェアを奪われる可能性が高く、特にインドネシア^{*6}のような主要な輸出市場においてその傾向が顕著である。これはインドネシアがパキスタン、ミャンマー、インドなどからの白米輸入シェアを増加させている一方、タイからの輸入シェアが減少している点に表れている（図 4）。この傾向は、今年および長期的にタイの米輸出に悪影響を及ぼす可能性がある。

図 4：インドネシアの白米輸入における主要な供給源別の割合（％）



Source: Trademap, compiled by KResearch

^{*6} インドネシアはタイの白米輸出の主要市場であり、タイの白米輸出総量の 23%を占めている（MOC、2024 年）。同時にインドネシアはタイから最も多くの白米を輸入している。

免責事項：

本レポートは、カシコン・リサーチセンターによって、KASIKORNBANK PCL（カシコン銀行）、および/または KASIKORNBANK PCL 傘下のグループ企業のお客さま向けに情報と分析を提供する目的で作成されています。本レポートは、配布日時点において信頼できるとみなされる情報源から取得した公開情報を基に作成されておりますが、事前の通知なしにいつでも変更される可能性があり、また、その正確性、信頼性、適切性、完全性、最新性について保証するものではありません。本レポートの内容は、いかなる状況下においても、説得、推奨、助言、または意思決定の動機付けを含むものと解釈されるものではありません。本レポートの参照にあたっては、関連情報を慎重に検討し、自らの判断に基づいて意思決定を行う必要があります。カシコン・リサーチセンターは、当該情報の利用により生じた損害について一切の責任を負いません。

本調レポートに含まれる情報は、カシコン・リサーチセンターおよび/または第三者（場合により）の所有物です。当該情報の全部または一部の利用には、カシコン・リサーチセンターおよび/または第三者（場合により）の所有権を示す内容を含めるか、その出典を明記する必要があります。カシコン・リサーチセンターおよび/または第三者（場合により）の事前の書面による承認なしに、情報を複製、変更、改変、修正、転送、または公開する行為、または商業目的での利用を行うことは固く禁止されています。